

長寧区人民政府
長寧区疫情防控領導小組
(CC:長寧区外事弁公室)

平素より上海日本商工クラブ及び日系企業の活動へのご支援、また新型肺炎との戦いにおいて格段のリーダーシップを発揮下さり、心より感謝申し上げます。今回の COVID-19 の世界的な感染拡大により、各国が国境をまたぐ人の移動を制限している中で、上海では感染拡大を抑え込み、第 2 四半期以降の経済成長は目を見張るものがある。

上海には累計で 1 万件以上の日本からの投資があり、上海日本商工クラブは、長寧区を中心に日系企業約 2300 社の会員を有しており、世界最大の在外日本商工会組織として中国経済に貢献してきた。新型肺炎を受けても日系企業の意向は変わらず、一日も早い复工復産と更なる投資を推進していく所存であるが、本年 3 月 28 日以降、日本からの渡航が厳しく制限され、上海で生活していた多数の日系企業経営者・従業員・帯同家族が上海に戻ることがほぼできないことが大きな障害となっている。7 月 3 日には上海市政府に別添の要望書を提出しているが、渡航査証申請に必要な招聘状の更なる発出、並びに日本から上海へのチャーター機の受け入れに当たり、日系企業が集積する長寧区人民政府のご支援を頂戴したい。

現在、日本と上海の間には、成田～浦東（週 4 便）、関空～浦東（週 1 便）の定期便が運航しているが、例えば全日空の成田～浦東便では約 200 人の乗客の 90%前後は日本及び米国等他国から戻る中国人で占められており、一便あたりの日本人乗客は数名～30 名程度となっている。このことから最近では、仮に査証を取得しても航空便の予約が取れず、査証の有効期限が切れることを心配しなければならない状況にある。日本企業経営者や技術者は一日も早く上海に来て事業に携わることが必要である。また、日本人学校の教師と生徒は 9 月から始まる新年度には登校することが望ましい。

ついては、下記のとおり日本から上海へのチャーター便の運航につき申請したいので、ご了解いただくとともに、各当局との調整や今後の手続きに関し、ご指示頂戴したい。また併せて、新たに招聘状が必要な渡航者についてはその点でもご配慮いただきたい。

追って、長三角一体発展計画も考慮し、チャーター便への搭乗には華東地域の日系企業経営者・技術者などからの搭乗希望がある場合には対応することとしたい。

1. チャーター便に搭乗予定の旅客の人数、組成

企業関係者： 約 1,160 人（戻っていない駐在員：約 660 人、新規赴任者：約 500 人）

帯同家族： 約 1,700 人（日本人学校生徒等：約 850 人、配偶者等：850 人）

日本人学校教師： 56 人

華東地域の日系企業経営者・技術者など： 約 100 人

合計 約 3,000 人

※上記人数のうち約 1,500 人がチャーター便に搭乗する

2. 希望するチャーター便の時期・発着地・便数

① 8月下旬～9月下旬 成田空港～浦東空港 週1便（計5便）

② 8月下旬～9月下旬 関西国際空港～浦東空港 2週に1便（計3便）

3. 運航航空会社 日本航空、全日本空輸

4. 機材 未定

5. 事務取扱会社 上海 JTB 国際旅行社、他 1～2 社

6. 到着後の隔離案

政府の隔離政策に従う

※商工クラブ会員事業者により、ホテルへの食事供給を行うことも可。